



令和2年4月21日(火)
No.1 4月号
横浜市立 新羽 中学校
☎542-1680 FAX 541-1038

【HP】 <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/nippa/> 【メール】 l2-nippa@edu.city.yokohama.jp

◇着任のごあいさつ◇

校長 荻野 弘

4月1日付で本校の校長に着任いたしました荻野 弘（おぎのひろし）です。生徒、保護者、地域そして関係機関の皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。着任前日の3月31日に宮本前校長先生にお連れいただき、町内会自治会の会長様をお訪ねして、離着任のあいさつをさせていただきました。皆様とても本校のことを大切に思っただき、ご支援をいただいていることを実感し、とても心強く感じました。また、ほぼ学区内を一周回らせていただくような動きでしたが、集合住宅や工場が立ち並ぶ都会的な地域の反面、丘陵の緑に囲まれ、自然の豊富な地域であり、とても心が穏やかになる感じがいたしました。私は3月までは港南区の港南中学校に勤務しておりました。一般級が3学年とも7クラス、個別支援学級が2クラス、合計23学級で港南区では一番大きな学校です。慌ただしい毎日の中でなかなか生徒全員の名前を覚えることは容易ではありませんでしたが、本校では、小規模校の良さを生かして生徒一人ひとりに「○○さん」と名前を呼んで声をかけることを目標にしたいと思っております。

3月3日（火）に新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための臨時休校が始まって、今のところ、5月6日

（水）まで延長が予定されています。年度末から年度初めの大切な時期に2か月以上も授業ができないという、今までに経験したことのない厳しい状況になっています。そんな中、4月6日の入学式では、新入生、教職員と保護者代表1名様だけの参加になってしまいましたが、春らしい暖かな日差しのもと、96名の新入生を迎えることができましたことを何よりも喜ばしく思いました。入学式において新入生の皆さんにお話しした内容を下に掲載いたしますので、ご一読いただければ幸いです。

まだ、先の見えない状況ではありますが、学校は必ず再開します。この厳しい現状が好転するまで、大人も子どもも辛抱と我慢が課せられています。私たち教職員は、学校再開に向け、感染予防を最優先として再び平穏な学校生活を送れるよう準備を進めながら、生徒の皆さんと会える日を楽しみにしております。



◇第43回入学式 学校長式辞◇

新緑に囲まれ、暖かな日差しの中、本日、96名の新入生を迎えることができました。新入生の皆さん、入学おめでとうございます。そして、ようこそ、新羽中学校へ入学されました。在校生、教職員一同、心より歓迎いたします。そして、このように保護者、来賓の方々の参加が出来ないなか、PTA 代表として副会長様にご臨席を賜りました。誠にありがとうございます。高いところから失礼いたしますが、心よりお礼申し上げます。

さて、新入生の皆さん、みなさんにとって新しい生活の始まりである入学式に皆さんを大

切に育ててくださった保護者の皆様、いつもやさしく見守ってくださった地域の方々が参加できないことに、校長としてたいへん申し訳なく、そして残念に思っています。皆さんも重々承知していると思いますが、それほど、今、社会全体がとても厳しい状況にあると感じています。しかし、考え方を変えれば、このような状況にもかかわらず、皆さんとともに入学式を迎えることができ、とてもうれしく思います。これからのこの新羽中学校での皆さんの笑顔と一生懸命に取り組む姿を見ることをとても楽しみにしています。

校長として、このように厳しい社会状況のなか、入学される皆さんに伝えたいことがあります。それは、「ピンチをチャンスに！！」という言葉です。今、お話しした入学式のことのように考え方を変えれば、マイナスなこともプラスに変わるということです。苦しい時にあきらめたり、逃げてしまうのではなく、それを乗り越えて、人として成長するチャンスであると思ってください。人生楽しい時ばかりではありません。苦しい時、辛い時がやって来ると思っています。そんな時こそ、しっかりと向き合い、それを乗り越えて自分を高めていってほしいと思います。

そして、ピンチをチャンスにするのは自分の力だけではありません。やがて学校を卒業し、厳しい社会をたくましく生きていくうえで、頼りになるのは自分自身と周囲の支えだと私は思っています。人間一人では生きていけません。周囲の様々な人と関わり、助け合って生きています。皆さんは「情けは人のためならず」という言葉を知っていますか。この意味は人にやさしく親切にしていれば巡り巡って自分もやさしくされるという意味です。人にやさしくない人が人にやさしくされることはありません。人に親切にできない人が人に親切にされることはありません。ぜひ、皆さん、学校の仲間を大切にしてください。みんなで助け合って学校生活を送って行ってください。自分が苦しい時、ピンチの時、きっと助けてくれると思います。本校の先生方はとても頼りになるすばらしい先生方ばかりです。皆さんがピンチの時、きっと支えになってくれると思います。

最後になりますが、生徒の皆さんが笑顔で元気に安心して学校生活を送ってくれることが校長としての私の一番の願いです。これから3年間、いろいろなことがあると思いますが、いろいろなことを吸収して自分を高めて行ってください。そして、うれしい時には、みんなで喜び、つらい時には、お互いに支えあい、いつも笑顔を忘れず元気に過ごしてほしいと思います。あと少しのです。健康に注意して規則正しい生活を続けて、学校の再開に備えてください。

以上で学校長の言葉といたします。



例年、2、3年生のみで新年度の始業式を午前中に行い、午後から入学式を行っていましたが、今年は入学式が先で、始業式・着任式は全校生徒がそろって行うことができました。残念ながら一堂に会して直接、紹介や話をすることはできず、放送での式となりました。始業式で話した内容も載せさせていただきました。

◇令和2年度前期始業式 学校長の言葉◇

皆さん、改めて1年間よろしくお願ひします。昨日、入学式が行われ、96名の新入生が入学されました。生徒全員合計305名で新羽中学校の令和2年度がスタートしました。

とは言え、また明日から臨時休業が今月の19日まで延長されました。国が「緊急事態宣言」を今夜にでも出すのではないかとの報道もされています。今までの経験したことのない厳しい状況になっています。改めて、必要のない外出はしないで、衛生面、環境面に注意して生活してください。

昨日の入学式で1年生の皆さんには話をいたしました。皆さんが明るく元気に安心して学校生活を送ってくれることが校長としての1番の願ひです。そのためには、この休業中の時間を無駄にしないことが一番大切なことだと思います。この後、担任の先生から休業中の各教科ごとまとめた学習課題が渡されると思いますが、与えられた課題はしっかりと行ってください。人間はどうしても楽な方に流れてしまいます。それに慣れてしまうと元に戻すのが大変です。3月の臨時休業中や春休み中にちょっと気が抜けてしまったと感じている人は、進級して新学期が始まったという自覚と意識を持ち、規則正しい生活を送って、再開を待つてほしいと思います。

また、この時期、友達と会うことや楽しく話す機会もあまりなかったことでしょう。改めて、友達や仲間の大切さを感じてほしいと思います。

最後になりますが、まだ先は見えませんが、学校は必ず再開します。再開後に「笑顔で元気に学校生活を送れる」ようにこの休業の期間を自分に厳しく大切に過ごしてください。

以上、始業式の学校長の言葉といたします。



【お知らせ】4月6日付け「警報発令にともなう登下校の安全の確保について」というお知らせを配布しました。昨年までは『午前7時』の段階で発令時の場合でしたが、本年度より『午前6時』に変更になっておりますので、ご注意ください。

★令和2年度セクシャルハラスメント相談窓口の紹介★

生徒担当・養護教諭 竹内裕香

教育総合相談センターの一般教育相談も、セクハラ相談窓口として利用できます。

電話番号：045-671-3726(月～金 9:00～17:00 *祝日・振替休日を除きます)